

### 目標～地域のまちの姿～

- 建築物が不燃化され、道路や公園などが整備された、防災性が高く災害に強い安全で安心なまち
- みどりを保全・創出し、良好な住環境が維持された、快適に暮らせるまち
- 各拠点の特性を活かした、誰もが交流でき利用しやすい、にぎわいと活力のあるまち
- 歴史的資産や文化・自然・知的資源を活かし育む魅力あふれるまち
- 交通ネットワークや生活道路などの交通環境の整備が進み、誰もが安心して安全で快適に移動できるまち

### 地域の骨格プランと土地利用の方針 (29ページを参照)

- 『地区生活拠点』として、豪徳寺駅・山下駅、千歳船橋駅、松陰神社前駅、上町駅・世田谷駅、池尻大橋駅、駒沢大学駅の各周辺地区を位置づけます。
- 土地利用の方針では、8つに区分した土地利用の位置を概略で示します。

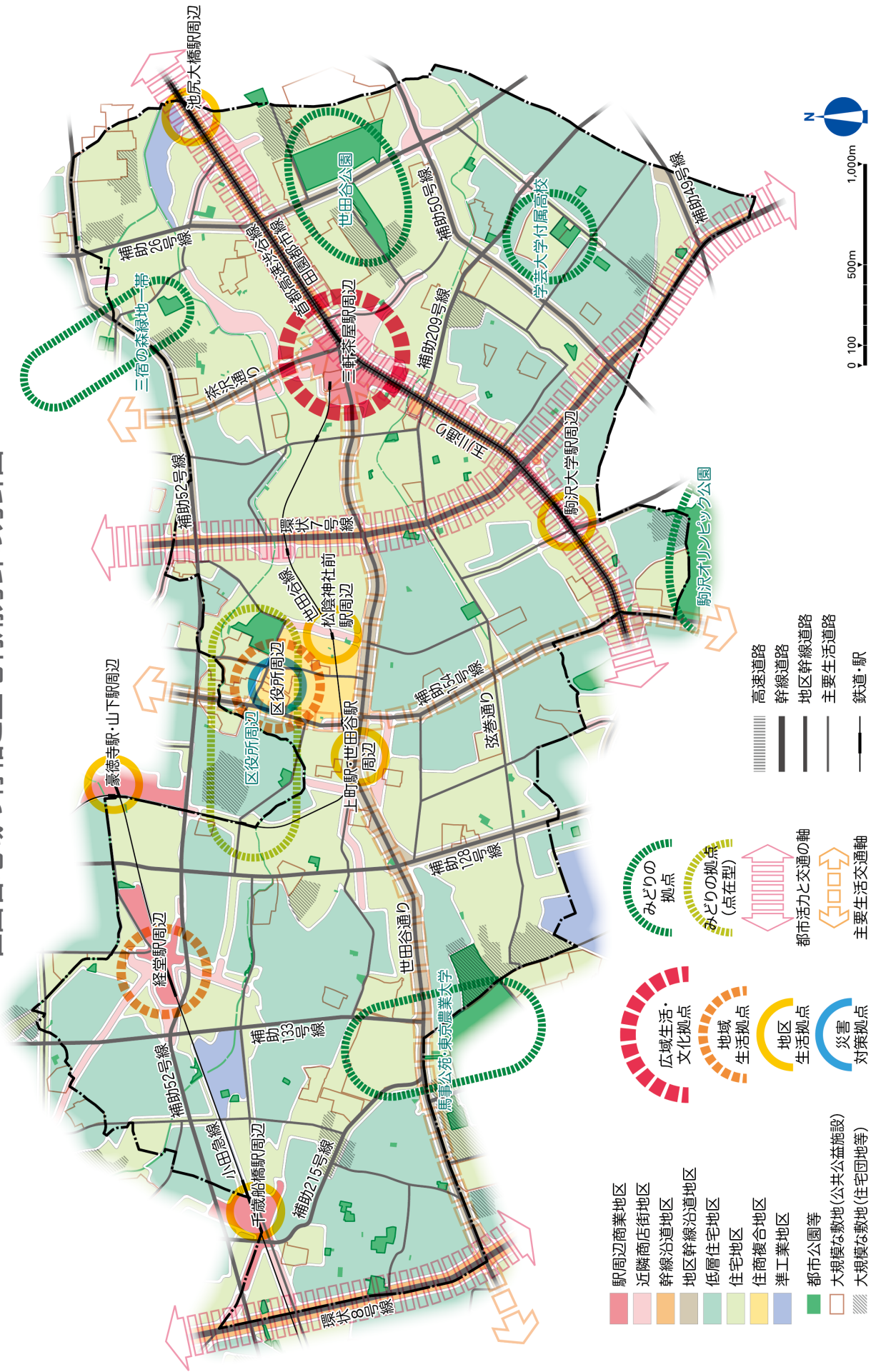
### 地域のテーマ別の方針 (30ページを参照)

テーマⅠ	安全で災害に強いまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●延焼遮断帯を整備する</li> <li>●防災生活圏内の安全性を向上させる</li> <li>●避難時の安全性を向上させる</li> <li>●水害を抑制する</li> </ul>
テーマⅡ	みどり豊かで住みやすいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みどりのみずを守り育てる</li> <li>●地区特性に応じたみどり豊かな住宅地を形成する</li> <li>●住みやすいまちをつくる</li> </ul>
テーマⅢ	活動・交流の拠点をもちまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特性に応じた拠点の魅力を高める</li> </ul>
テーマⅣ	地域資源の魅力を高めるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然資源や歴史的資産、風景資産を活かし、まちの魅力を高める</li> <li>●新たな地域資源を創出する</li> <li>●地域資源をPRし、愛着を高める</li> </ul>
テーマⅤ	誰もが快適に移動できるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地先道路の整ったまちをつくる</li> <li>●誰もが安全・快適に利用できる交通基盤とする</li> </ul>

### アクションエリアの方針 (31ページを参照)

- 1-①～1-⑥は、地区計画などを策定し、街づくりを進めていく地区（一部、地区計画や地区街づくり計画などが策定されている地区を含む）です。
- 1-⑦～1-⑳は、既に策定された地区計画などに基づき、街づくりを進めていく地区です。

# 世田谷地域の骨格と土地利用方針の方針図

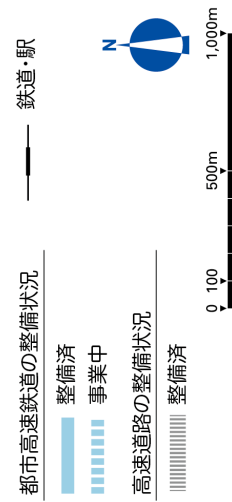
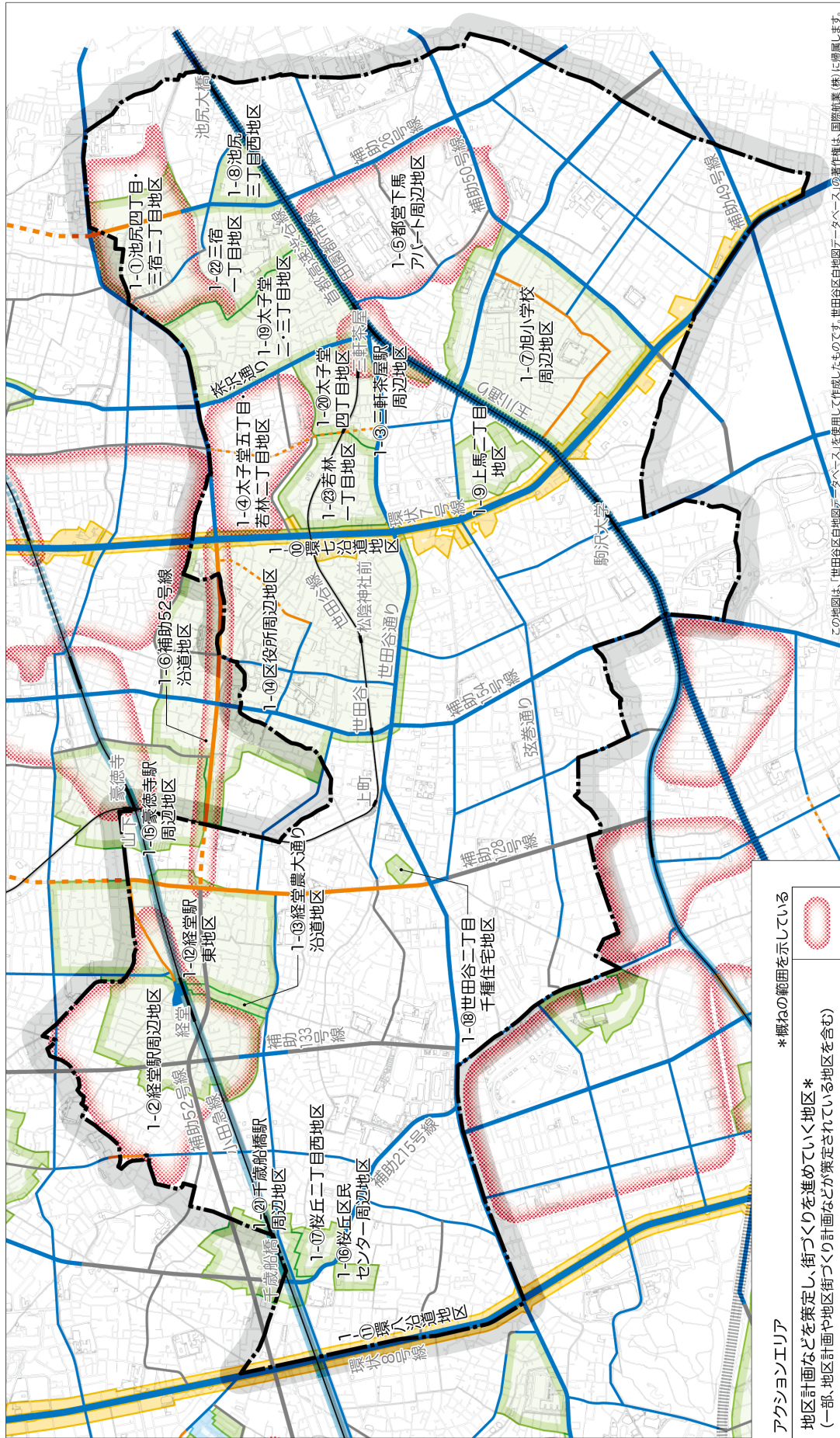


大規模な土地利用転換の際は、都市基盤整備を進めるとともに、地区の特性や周辺住宅地と調和した土地利用を誘導する。

# 世田谷地域のテーマ別の方針図



# 世田谷地域のアクションエリア



アクションエリア

\* 概ねの範囲を示している

地区計画などを策定し、街づくりを進めていく地区* (一部、地区計画や地区街づくり計画などが策定されている地区を含む)	赤い点線枠
地区計画や地区街づくり計画などが策定されている地区	緑の点線枠
沿道地区計画が策定されている地区	黄色の点線枠
土地区画整理事業が完了した区域で、地区計画が策定されている地区	青の点線枠

アクションエリア以外の地区についても、街づくりの気運の高まりなどに応じて、新たに街づくりの検討を行う。